○九州地方の地震活動

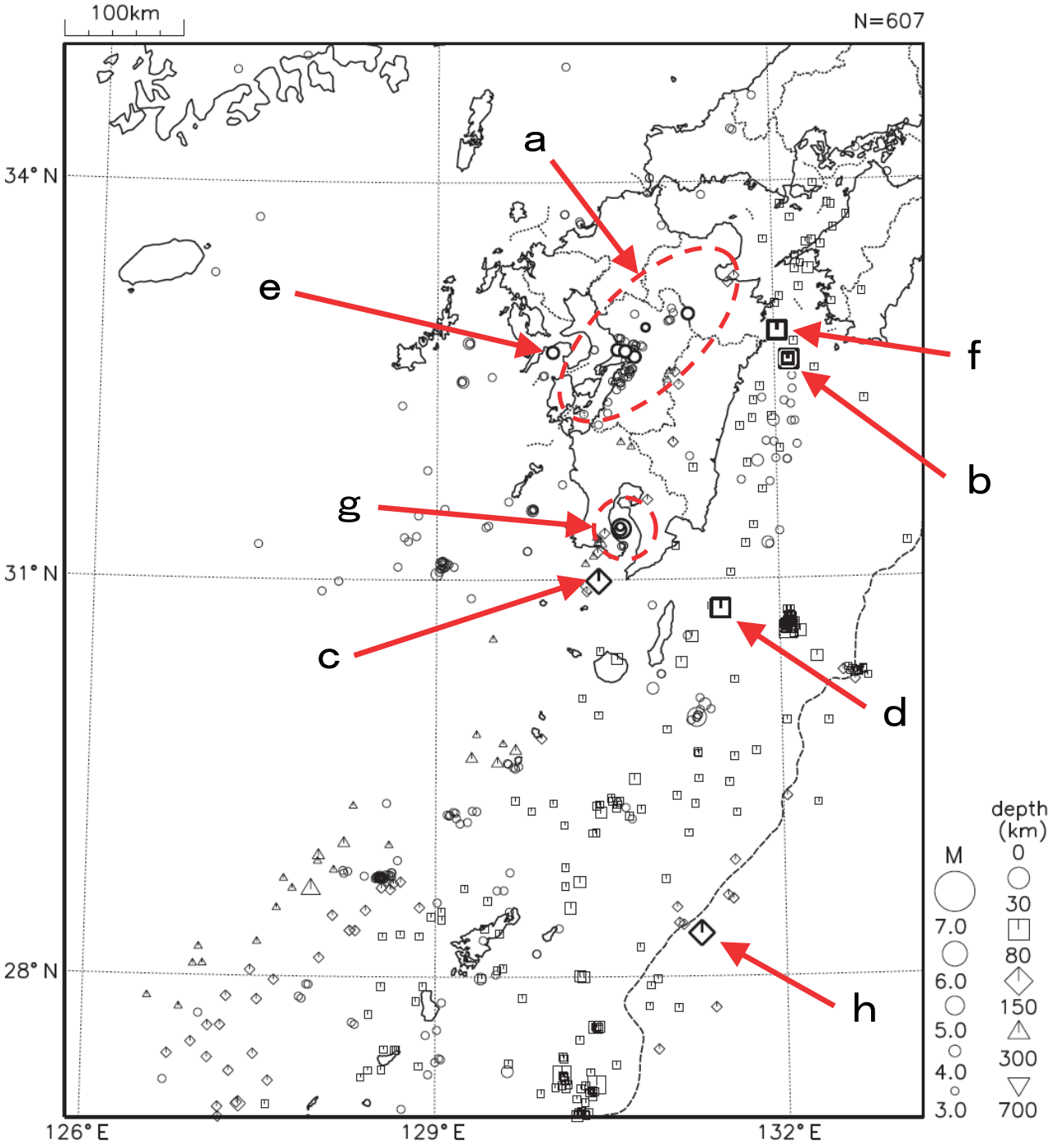

図９　九州地方の震央分布図（2017 年１月１日～12 月 31 日、M≧3.0）

［概況］

2017 年に九州地方で震度４以上を観測した地震は 11 回（2016 年は 147 回）であった。
2017 年中の主な地震活動は次のとおりである。

・「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の活動（図９中の領域ａ）

熊本県熊本地方及び阿蘇地方における「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続している。大分県中部の活動は低下した。

一連の地震活動により、死者 255 人、住家全壊 8,675 棟などの被害が生じた（2017 年 12 月 14 日現在）。

１月 11 日 19 時 11 分に熊本県熊本地方の深さ９km で M3.4 の地震が発生し、熊本県菊池市で震度４を観測したほか、熊本県、福岡県および大分県で震度３～１を観測した。

５月４日14時22分に熊本県熊本地方の深さ11km で M4.1 の地震が発生し、熊本県美里町で震度４を観測したほか、九州地方と山口県で震度３～１を観測した。

５月 11 日 20 時 21 分に有明海の深さ 13km で M4.4 の地震が発生し、熊本県熊本市、上天草市で震度４を観測したほか、九州地方で震度３～１を観測した。

７月２日00時58分に熊本県阿蘇地方の深さ11km で M4.5 の地震が発生し、熊本県産山村で震度５弱を観測したほか、九州地方から中国・四国地方の一部にかけて震度４～１を観測した。

９月８日14時20分に熊本県熊本地方の深さ14km で M4.1 の地震が発生し、熊本県熊本市で震度４を観測したほか、九州地方で震度３～１を観測した。

これらの地震は、地殻内で発生した。

・「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の活動域外で発生した主な地震

３月２日 23 時 53 分に日向灘の深さ 37km で M5.3 の地震（図９中のｂ）が発生し、宮崎県、大分県、熊本県で震度４を観測したほか、九州地方から中国・四国地方にかけて震度３～１を観測した。また、ほぼ同じ場所で同日 23 時 54 分に M4.9 の地震が発生した。これらの地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

３月 12 日 03 時 48 分に種子島近海の深さ 136km で M5.1 の地震（図９中のｃ）が発生し、鹿児島県大崎町、錦江町、屋久島町（口永良部島）などで震度３を観測したほか、九州地方から四国地方にかけて震度２～１を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

４月 29 日 21 時 32 分に大隅半島東方沖で M5.6 の地震（図９中のｄ）が発生し、宮崎県日南市、鹿児島県鹿児島市などで震度３を観測したほか、九州地方から四国地方の一部にかけて震度２～１を観測した。

６月９日 23 時 36 分に橘湾の深さ 16km で M4.3 の地震（図９中のｅ）が発生し、長崎県諫早市で震度４を観測したほか、長崎県、佐賀県、福岡県などで震度３～１を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

６月 20 日 23 時 27 分に豊後水道の深さ 42km で M5.0 の地震（図９中のｆ）が発生し、大分県佐伯市で震度５強を観測したほか、九州地方から中国・四国地方にかけて震度４～１を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

鹿児島湾（図９中の領域ｇ）では、2016 年 12 月頃から地震活動がやや活発となり、2017 年７月 11 日に深さ 10km で M5.3 の地震が発生し、鹿児島県鹿児島市で震度５強を観測したほか、鹿児島県を中心として九州地方で震度５弱～１を観測した。この地震の発生以降、最大震度４を観測する地震が２回発生した。これらの地震は、地殻内で発生した。７月 11 日の地震により負傷者１人などの被害が生じた。

10 月 19 日 18 時 02 分に奄美大島北東沖の深さ 18km（CMT 解による）で M5.6 の地震（図９中のｈ）が発生し、鹿児島県の奄美市、喜界町で震度３を観測したほか、九州地方で震度２～１を観測した。この地震は、南西諸島海溝付近のフィリピン海プレート内部で発生した。